

平成30年度 公共事業事後評価調査

1. 事業説明シート

(区分) 国補 ・ 県単

事業名	治水事業 [基幹河川改修事業 (国補)]		事業箇所	甲府市落合町～向町地内	地区名	平等川	事業主体	山梨県
(1) 事業着手年度	S61年度	(2) 事業期間	S61年度～H25年度	(3) 完了後経過年数	5年	(4) 総事業費	5,722百万円	
(5) 事業着手時点の課題・背景				(8) 事業位置図等				
<p>平等川は、山梨市矢坪に端を笈し、笛吹市を流下した後、甲府市で笛吹川に合流する延長L=12.9km、流域面積33.2km²の一級河川である。</p> <p>事業区間は、計画流量330m³/sに対し、現況の流下能力は189m³/sしかなく、昭和52年8月豪雨、昭和57年8月の台風10号、昭和57年9月の台風18号、昭和58年8月の台風5・6号では河川の氾濫によって甚大な被害が発生していた。</p> <p>(被害実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和52年8月17日～18日 (豪雨) 浸水農地面積116ha 浸水家屋137戸 昭和58年8月16～17日 (台風5・6号) 床下浸水12戸 浸水面積4.5ha 								
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果								
<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 <input type="checkbox"/> 洪水被害の防止</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 なし</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 なし</p>								
(7) 整備内容 (目標達成の方法)								
<ul style="list-style-type: none"> 流下能力の向上 改修延長: L=5,064m 護岸工L=9,230m 流下能力: 189m³/s → 330m³/s 治水安全度: 1/4 → 1/50 								

2.評価シート(1)

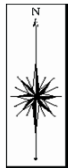
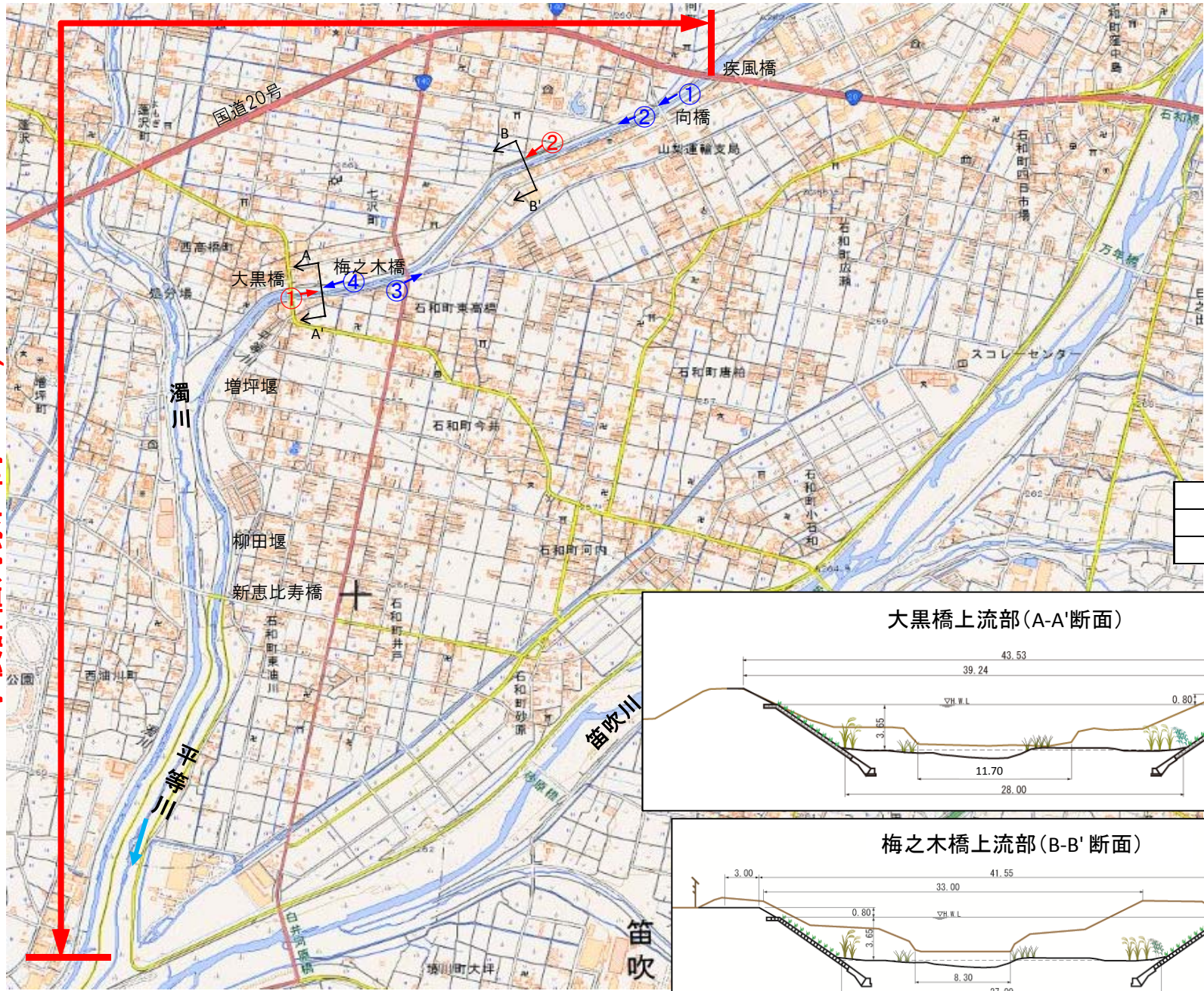
(1) 事業貢献度 〈(良)・不良〉	(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 〈(有)・無〉																																																													
<p>(理由) 平成23年7月の時間雨量62.0mmの局地的大雨や平成23年9月の台風15号による日雨量124.5mmの降雨があったが、流下能力が向上したことにより、沿川において被害は発生せず、安全度の向上に大きく貢献している。 また、河床に植生が繁茂し良好な空間が形成されている。</p> <p>①主要目標 洪水被害の防止</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指標</th> <th style="width:30%;">事業着手時点数値等</th> <th style="width:50%;">事後評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標流量に対する現況流下能力の割合</td> <td style="text-align: center;">0.57</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> <tr> <td>浸水被害又は水防活動の実績(浸水被害)</td> <td style="text-align: center;">S52、S57、S58</td> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> <tr> <td>想定氾濫区域内における災害発生時の影響</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・国道140号 ・県道白井河原八田線 ・石和共立病院 ・誠心幼稚園 ・富士見小学校 </td> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>□評価 流下能力が向上したことにより、目標と同程度の降雨が発生した場合でも、沿川の被害は発生していない。</p> <p>②副次目標 なし</p> <p>③副次効果 なし</p> <p>④その他の事業効果の発現状況 なし</p>	指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等	目標流量に対する現況流下能力の割合	0.57	1.00	浸水被害又は水防活動の実績(浸水被害)	S52、S57、S58	なし	想定氾濫区域内における災害発生時の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・国道140号 ・県道白井河原八田線 ・石和共立病院 ・誠心幼稚園 ・富士見小学校 	なし	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">項目</th> <th style="width:15%;">着手時点</th> <th style="width:15%;">再評価時点</th> <th style="width:15%;">事後評価時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: right;">3,750 百万円</td> <td style="text-align: right;">4,450 百万円</td> <td style="text-align: right;">5,722 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td style="text-align: center;">S61~H24</td> <td style="text-align: center;">S61~H24</td> <td style="text-align: center;">S61~H25</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">H20</td> <td style="text-align: center;">H30</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td style="text-align: right;">6,375 百万円</td> <td style="text-align: right;">11,278 百万円</td> </tr> <tr> <td> 建設費</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td style="text-align: right;">5,966 百万円</td> <td style="text-align: right;">10,542 百万円</td> </tr> <tr> <td> 維持管理費</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td style="text-align: right;">409 百万円</td> <td style="text-align: right;">736 百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td style="text-align: right;">31,910 百万円</td> <td style="text-align: right;">39,125 百万円</td> </tr> <tr> <td> 一般資産被害</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td style="text-align: right;">11,317 百万円</td> <td style="text-align: right;">13,818 百万円</td> </tr> <tr> <td> 公共土木施設等被害</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td style="text-align: right;">19,171 百万円</td> <td style="text-align: right;">23,408 百万円</td> </tr> <tr> <td> その他※</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td style="text-align: right;">1,422 百万円</td> <td style="text-align: right;">1,899 百万円</td> </tr> <tr> <td> B/C※※</td> <td style="text-align: center;">未算出</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">3.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他は、農作物被害便益、営業停止損失便益、応急対策費用便益 ※※費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p>(要因変化の分析) 総事業費 統合予定であった堰の改築による増加 橋梁の基礎杭や仮橋が必要となったことによる増加 物価上昇による増加</p> <p>工期 堰の改築に時間を要し、工期を1年延長</p> <p>費用 総事業費の増加</p> <p>(3) 事業実施による環境の変化</p> <p>①自然環境への影響 生物の生息環境、植生の生育環境に配慮して護岸には多自然ブロックを採用したため、植生が活着し、水際植物が再生し、魚類・鳥類の生息が確認できた。</p> <p>②生活・居住環境等への影響 なし</p> <p>③環境保全対策の効果発現状況(措置を講じた場合) なし</p> <p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響</p> <p>①社会経済状況の変化 環境に対する意識の高まりを背景に、生態系及び計画など周辺環境との調和に配慮した空間を整備することとなった。</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化 なし</p> <p>③事業環境等の変化 なし</p>	項目	着手時点	再評価時点	事後評価時点	総事業費	3,750 百万円	4,450 百万円	5,722 百万円	工期	S61~H24	S61~H24	S61~H25	評価基準年	-	H20	H30	経済効率性	費用	百万円	6,375 百万円	11,278 百万円	建設費	百万円	5,966 百万円	10,542 百万円	維持管理費	百万円	409 百万円	736 百万円	便益	百万円	31,910 百万円	39,125 百万円	一般資産被害	百万円	11,317 百万円	13,818 百万円	公共土木施設等被害	百万円	19,171 百万円	23,408 百万円	その他※	百万円	1,422 百万円	1,899 百万円	B/C※※	未算出	5.0	3.5
指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等																																																												
目標流量に対する現況流下能力の割合	0.57	1.00																																																												
浸水被害又は水防活動の実績(浸水被害)	S52、S57、S58	なし																																																												
想定氾濫区域内における災害発生時の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・国道140号 ・県道白井河原八田線 ・石和共立病院 ・誠心幼稚園 ・富士見小学校 	なし																																																												
項目	着手時点	再評価時点	事後評価時点																																																											
総事業費	3,750 百万円	4,450 百万円	5,722 百万円																																																											
工期	S61~H24	S61~H24	S61~H25																																																											
評価基準年	-	H20	H30																																																											
経済効率性	費用	百万円	6,375 百万円	11,278 百万円																																																										
	建設費	百万円	5,966 百万円	10,542 百万円																																																										
	維持管理費	百万円	409 百万円	736 百万円																																																										
	便益	百万円	31,910 百万円	39,125 百万円																																																										
	一般資産被害	百万円	11,317 百万円	13,818 百万円																																																										
	公共土木施設等被害	百万円	19,171 百万円	23,408 百万円																																																										
その他※	百万円	1,422 百万円	1,899 百万円																																																											
B/C※※	未算出	5.0	3.5																																																											

評価シート(2)

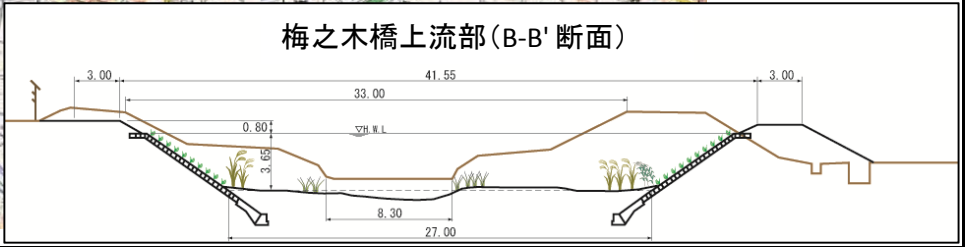
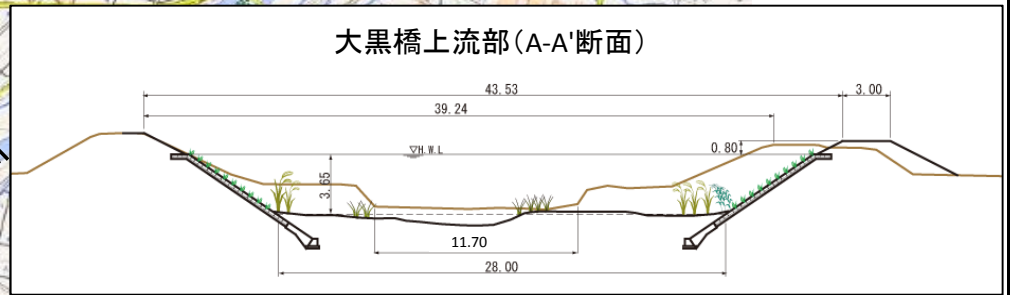
<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由) 事業完了後、浸水等被害も発生しておらず、危険度も改善され、十分な効果が得られており、目標は達成されていることから、今後の事後評価の必要性はないと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期： 年度 ・方法： 	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由) 河川事業の場合、計画区間全体を一括して評価を受けてきたことから、事業期間が長くなる傾向にあり、予算管理や時間管理が課題となっている。</p> <p>(具体的反映策) 中長期的な事業計画を持ちつつ、一連で効果が発揮できる適切な工区を設定して、その工区毎に事業評価を受けることにより、予算管理や時間管理を徹底していきたい。</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性</p> <p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果) なし</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p> <hr/> <p>(9) その他特筆すべき事項 〈有・無〉</p> <p>なし</p>

3. 添付資料シート (1)

事後評価対象区間 L=5,064m



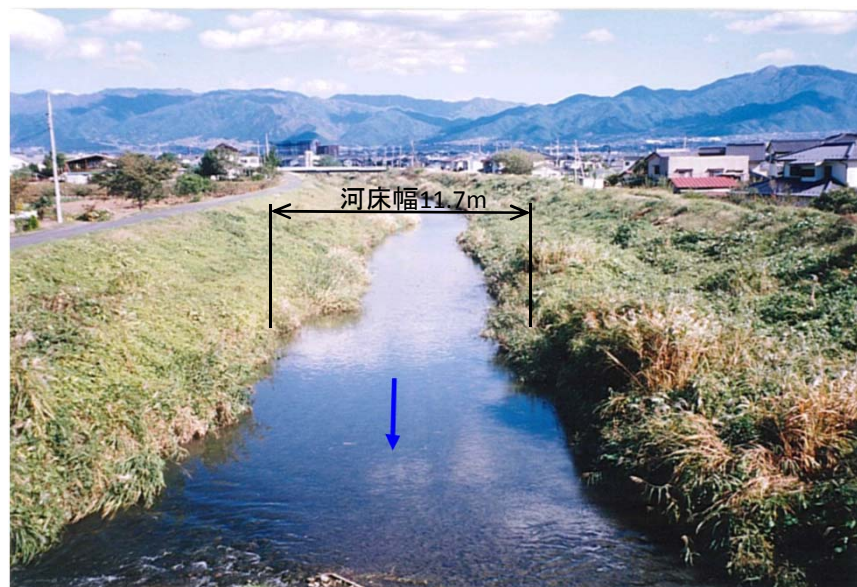
写真位置凡例	
←①	河川状況
←②	出水状況



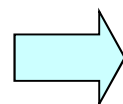
3.添付資料シート(2)

写真① 大黒橋上流部

改修前



改修後

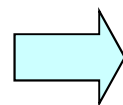


写真② 梅之木橋上流部

改修前



改修後



3.添付資料シート(2)

■出水状況写真：平成23年9月21日洪水(台風15号)

出水写真① 向橋上流



出水写真② 向橋下流



出水写真③ 梅之木橋上流



出水写真④ 大黒橋上流

